



大空の風

2学期も大詰め。今日は午前中はお天気がよく、外で体育をがんばっていました。鉄棒も縄跳びも上手になりましたね。練習の積み上げの成果です。

12月16日
No.73

なんと大江小が応援したオランダが、女子ハンドボールで世界一になりましたね。すばらしい！！子どもたちも喜んでいて、なんかオランダに親近感も感じるようになってきました。記憶に残る大会になりました。



12月のグリーンデー 先週の金曜

日は、とっても寒い朝でした。でもグリーンデーに参加してくれる子どもたちの数が、いつもより多いような気がしましたよ。寒い中、おおえのきの周りに、春の花の苗を植えてくれました。また、3年生は「オオエノキプロジェクト」で樹木医さんに、石ころが根っこの上にあったらいけないことを教えてもらったので、根っこの上の土の整備をしてもらっていました。ありがとう。「先生手が冷たいよ～」と子どもたち。なんと軍手をせずに素手で作業をしていました。それは冷たかったですよ。今年はあと1回、グリーンデーがあります。グリーンデーだけでなく、今いちごの葉がたくさん落ちているので、気づいた人が朝からちょこっとボランティアをしてくれると嬉しいです。子どもたちが自主的に活動してくれると、本当に嬉しいです。



おおえのきも喜んでのことでしょう。



サクラソウと小さな紫の花がさくなんとかという花名。阿蘇品先生に何回聞いても覚えられません(笑)

給食ってすごいな・・・魔法の給食

今は学校で給食に時間に、嫌いなものを無理やり食べさせるようなことはありません。給食時間では、発達段階に合わせて給食指導をしますが、自分の食べられる量がわかり、量を決め、バランスが良い給食を完食するようにしています。だから苦手な食材にも、ちょこっとはチャレンジするように励ましています。だって好き嫌いが無い方が、大人になって、いろんな地方やいろいろな国の食文化を堪能できますもの・・・。下は給食作文コンクールで入選した5年生の作文です。魚が少し嫌いだったけど、きびなごフライを食べてみたらジューシーで美味しかったと、きれいなもののおいしくなる給食は魔法みたいだと書いています。勇気をだして思い切って食べたこと、素晴らしいと思います。そしていろいろな魚も食べられるようになって、本当によかったなあと思います。



今日はオリンピックで味の旅「南関東地区」でした。南関東あげ丼、酢味噌和え、節そうめん汁、牛乳、ごはんでした。おいしかった～～～♥

まほうの給食
五年 福居 諒介

今日はきびなごフライが給食に出る。給食はいやだな。」

僕は、毎朝学校に行く前に給食の献立表を見るほど給食が大好きです。理由は、家では出ないメニューが給食では出るからです。でも僕は魚が少し苦手でした。くさみがあるからです。

給食の時間がどんどん近づいてきます。給食が魚だから、暗い気持ちになりました。給食の時間になって、魚のおいがしてきました。机にきびなごフライのついた皿が来た時、うわっ。いやだな。すぐ減らそう。」と思いました。でもクラスのルールで、ついであるものを減らすとおかわりができなくなるルールなので、減らすのをやめました。そして恐る恐る一口フライを食べました。え、おいしい。」すると僕の大好きな肉と同じようなジューシーで、パクパクと食べてしまいました。そして、きびなごフライをおかわりしようと思ったけど、最初ゆっくり食べていたので、もうおかわりじゃけんは終わっていました。そして、最初ゆっくり食べていたことを後悔しました。魚ってけっこうおいしいんだな。」と思いました。

そして次にきびなごフライや魚のかば焼き、さばのみそ煮などのおいしい魚は、おかわりするようになりました。きれいなものも、まほうみたいにおいしくなって食べられました。お魚が好きになったことをお母さんに言うと、好きになってよかったね。」と言ってくれました。

熊本市の給食は、栄養バランスがいいように考えられていて、一年分いっせいに栄養士さんが決めます。材料が足りるように、他の学校と日付をずらして給食が出ているそうです。魚は週に約一回出ます。魚は血や肉や骨になるので、たくさん食べたいなと思いました。